



城南中だより

舞鶴市立城南中学校
令和5年7月3日発行
第4号 通算666号

<http://jonan-maizuru.edumap.jp/> TEL 75-0137



盛夏の候 保護者・地域の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申しあげます。6月も校外での活動が多く、各種スポーツ大会やサマーコンサート・中学生の主張大会・紫陽花隊の活動等が毎週末に開催されました。生徒たちの多様な活躍の場で、皆様方にあたたかく支えて頂いておりますことに感謝申しあげます。

確かな学び 心豊かに たくましく

6月23日には生徒会の改選が行われました。新生徒会長に立候補した川北大我さんは、立ち会い演説会の冒頭でこのように問いかけました。「皆さん、日本で一番高い山といえば？ そう、富士山ですね。では、一番広い湖は？ ～」と軽快に応答が続きます。しかし「それぞれ二番目は？」と問われるとみんな簡単に答えられません。こうして、全校生徒の気持ちを引きつけながら「生徒会活動を通じて誰もが1番と認める、すばらしい城南中学校にしたい。」と力強く訴えました。



立ち会い演説会

本校の生徒会は、年間計画に組み込んだ生徒会活動・委員会活動等の円滑な運営と、より良い学校づくり・快適な学習環境づくりを目指して日々取り組んでいます。併せて、「広報まいづる (6月号)」の誌面に掲載するインタビューに応えたり、初の「熱中症防止飲料自動販売機」設置に向けた取組では、学校での自販機運用への期待や不安・注意点を全校から集約し、限られた時間で適切にまとめてルールとして提案するなど、刻々と変化する状況や随時舞い込む様々な案件等に対して、柔軟かつ丁寧に対応しています。「城南中の要」のひとつといえるでしょう。

偶然？ 必然？ 真摯な努力や工夫の積み重ねのそばには必ずチャンスが！

つい先日のことです。私は「近畿中学校長会議」という研究会のために大津市の会場にいました。これは近畿圏内の公立中学校長の代表が集まり、優れた実践や教育現場の今日的課題解決等について情報交流する会議です。協議の合間に、会場の進行スタッフを兼ねた校長先生がやってきて「こちらに城南中学校の先生はいらっしゃいませんか!!」と声をかけられました。唐突にどうしたのかと思い返事をしたところ・・・

「舞鶴市の城南中学校では ICT を活用したすばらしい実践をしていると聴いています。」という内容でした。「以前から気になっていたもので、もしかしたら今日の研究会で会えば直接城南の話が聞けるかも」と考えて、探して声をかけてくださったそうです。

そこで、城南中は市内の「ICT 活用のモデル校」として昨年度研究発表会を開催したことや、舞鶴市では先進校も含めれば何年も前からひとり1台タブレット端末でロイロスクールという学習アプリを活用していること、「ICT を使わなくちゃ」という段階ではなく「必要な場面でどのように効果的に使うか」について先生たちが研究を続けていることや、専用回線の整備の状況などを簡単にお伝えして名刺を交換しました。

その後すぐに連絡を頂き、「やはり実際に目で見て」ということで校長先生自ら城南中学校に視察にお越しになることになりました。せっかくなので、城南のいいところをたくさん見て帰って頂きたいですし、本校にも良い刺激になればうれしいです。

保護者・地域の皆様方のかかわらぬご理解とご支援をよろしくお願い申しあげます。

校長 福本 浩介 教職員一同



より良い学校教育で、より良い社会をつくる